



令和8年4月1日
墨田区立桜堤中学校
校長 吉岡 大司

令和8年度 学校経営方針

桜堤中学校は、スローガン「つなぐ伝統 築こう未来」のもと、これまでの学校の伝統や文化を大切にしながら、これからの社会を自分らしく生きていく子どもたちの成長を支えています。

また、学校は、「学力」を伸ばす場であると同時に、人との関わりを通して「心を育て」、「挑戦する力」を身に付ける場です。令和8年度も、「人とのつながり」や「体験を伴う学び」を大切にした教育活動を進めていきます。そして、タブレットなどのデジタル教材を効果的に活用しながらも、人と向き合って話すこと、体を動かして感じることなど、「リアルな学び」を重視し、一人ひとりが「分かる喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくりに取り組みます。

また、子ども一人ひとりの思いや悩みに丁寧に寄り添い、「自分は大切にされている」「やってみよう」と思える気持ちを育て、失敗を恐れずに挑戦できる学校づくりを進めていきます。

結びに、保護者や地域の皆様とのつながりを大切に、地域に学び、地域に支えられながら、CSとしての学校づくりや子ども達が「桜堤中」を誇りに思える教育活動を進めてまいります。zx教職員一同、心を一つにしてお子様の成長を全力で支えていきます。

1 本校の教育目標(文武両道の精神のもと、以下の教育目標を定める)

- 確かな知性 ○ 豊かな感性 ○ 健全な心身
- スローガン「つなぐ伝統 築こう未来」

2 目指す学校像

- (1)一人ひとりの生徒を大切にする学校
- (2)「質」の高い教育活動を実現する学校
- (3)地域・保護者と共につくる学校

3 目指す生徒像

- (1)基礎学力を身に付け、自ら学び、将来の夢に向かって努力する生徒
- (2)地域を愛し、思いやりの心を大切にして、自分の行動に責任をもつ生徒
- (3)心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦する生徒

4 目指す教師像

- (1)一人ひとりの生徒に目を向け、生徒のために全力で何事にも取り組む教師
- (2)授業を第一に考え、授業力向上のための実践と研修に取り組み、常に創意工夫する情熱的な教師
- (3)すべての教育活動に積極的に取り組み、組織的に協働する教師

5 学校経営方針とその重点方策

(1)確かな学力の向上

- ①桜堤中スタンダードを基にデジタル学習を充実させ「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する。体育科を中心とした教科横断型コラボ授業を実施し、学力向上を図る。
- ②数学や英語は「東京方式習熟度別指導ガイドライン」に沿った「個」に応じた学びの充実。
- ③子ども達の「できる」「分かる」までの学びを繰り返すことで、指導の充実を図る。
- ④各種検定(漢検・英検・数検)を積極的に受検させる支援を行う。
- ⑤朝学習を活用した5教科「コンテスト」を計画的に実施する。
- ⑥様々な学習機会として、放課後補習教室の充実。

(2)豊かな人間性の育成

- ①社会生活の基礎となる桜堤中学校生活目標「あじみこし」(あ:挨拶、返事・じ:時間・み:身だしなみ・こ:言葉遣い・し:姿勢)を通して、授業規律・生活習慣を確立する。
- ②日々の生徒観察やふれあい月間中に実施される教員やSCとの面談を適時に行う。「アンケート」を通して、「いじめ」等の早期発見に努める。さらに、必要に応じて、SSW、地域、関係諸機関との連携を密にし、早期対応を行い、本校の「いじめ防止基本方針」に沿って組織的に対応する。
- ③道徳教育や系統的な横断的学習を通して、思いやりの心や自己効力感を育成する。
- ④学校行事や部活動、体験活動等を通して社会性を養い、生徒会活動や学級会活動、清掃活動等を通して、自治の意識を高めるとともに、挑戦する心、あきらめない心、困難を乗り越えようとする強い意志などのたくましさを涵養する。そして、そのリーダーや係生徒が、見通しを持った活動ができ、自信を持って発言、行動できる生徒を育てる。
- ⑤特別な支援が必要な生徒への合理的配慮は、校内委員会や関係諸機関等の連携強化し情報共有することで、適切な対応を検討・実施する。必要に応じて、SCや関係諸機関、特別支援教室(ゆうあい)との協力・連携を図り、効果的な教育活動を充実させる。

(3)豊かな個性と創造力の伸長

- ①3年間のキャリア教育(1年「職業調べ」・2年「職場体験」・3年「進路決定」)キャリア・パスポートを効果的に活用した「自己実現」のための成果を積み上げる。
- ②文化的な活動(音楽・美術・日本の伝統文化、「すみだ北斎美術館」、「日本の伝統音楽」)等を充実させ、生徒の感性を高めるとともに豊かな情操を育む。
- ③国際感覚豊かな視点や多文化共生社会の理解を深めた生徒を育む。(台湾交流等)

(4)開かれた学校づくり

- ①学校だより・学年だより・学級だよりや学校ホームページなどを通して積極的に日々の教育活動を発信する。学校ホームページは、適時更新を行う。
- ②桜堤中ブロック幼保小中一貫教育における教職員間の情報交換、交流や連携と生徒・児童・園児間の交流を積極的に推進する。
- ③地域コミュニティとして、CSとなった学校づくりをめざす。
教育機能や施設・設備の提供、家庭や地域の教育力の向上、地域行事(町会や青少年育成委員会)やPTA活動等に教員が積極的に参加して、地域交流・連携に努める。
- ④災害時における防災拠点として役割を果たすために、早稲田大学や地域と連携した防災教育や防災授業を実践し、充実を図る。本校は、東京都指定の広域避難場所内にある。自然災害が発生した際、避難所となる。ソーラーパネルによる発電設備やマンホールトイレ等緊急避難時に対応できる設備を備える施設であることを周知し、生徒・教職員が災害時に「自助・共助・公助」の活動ができるよう準備する。

(5)教職員の資質向上と「生き方・働き方改革」の推進

- ①学校における働き方改革を推進し、業務の効率化や労働時間の適正化を図るとともに、教職員の使命を自覚し、同僚性を高めながら、組織力と専門性の向上をめざす。
- ②学びの主体は、生徒である。「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開できる授業力を身に付け、教育公務員としての使命感と情熱をもたせる。また、校長の学校経営方針に基づいて学力向上の取組を組織的に行う。特に、「教師は最大の教育環境」という考えに立ち、立ち居振る舞いや言葉遣い、服装・受容的な態度等、教師としての在り方に十分配慮する。(人権上の不注意や不適切な言動、体罰等の厳禁)